

「もしも」の想いを手帳に託して

コロナ禍の時期、癒しを求めてペットを飼う「ペットブーム」が到来。その後も安定した人気が続き、今や全国でペットを飼っている世帯は約五世帯に一世帯の割合に達しています。

ペットは家族の一員、かけがえのない存在。そのなかで今回、飼い主の「もしも…」に備えた、ペット専用「ヘルプ手帳」が誕生しました。

発案したのは、株式会社nancoco 代表取締役 萩野朱加さん。イラストレーターとしても活躍中です。

今月号では制作に至る想いや今後の展望についてお伺いしました。



株式会社 nancoco
住所 岐阜市加納新本町 1-4-701
TEL 090-6576-8751

制作のきっかけは、猫を飼つている一人暮らしの友人からの相談でした。

「もし、自分が急病や事故で意思疎通出来なくなってしまった場合、部屋に閉じ込められたペットはどうなってしまうのだろう、と強い不安を感じていました。私自身も猫を2匹飼っていますので、その気持ちが痛いほど分かりました。私だったらどうすればいいのだろう、何とかしたい気持ちは高まるばかりでした」

令和二年、萩野さんが考え付いた答えは、自身の仕事「イラスト」を生かして「伝える」ことでした。その方法は、スマートフォンの待ち受け画面に『自宅に猫がいるの

な注目があることがわかつてていたら、重圧で作り上げることが出来なかつたと思います』

こうして誕生したのが「ねこヘルプ手帳」です。しかも発売すると、たちまち、猫があるなら犬用も、さらには他の動物も…という声が高まり、要望に応える形で、同年十月、続けて「いぬヘルプ手帳」、「どうぶつヘルプ手帳」が完成しました。「いぬヘルプ手帳」には、犬ならではの特徴や散歩の方などを追加するといった、改良を重ねました。また「どうぶつヘルプ手帳」においては、うさぎ、フェレット、ハムスター、爬虫類などに対応しており、飼い方以前に扱い方すら分からない人のために飼い主が自由に書き込める項目を多く設定しました。

「SNSにはこんなような項目を追加してほしい、自由に書き込めると一緒に作り上げたという気持ちでいっぱいです」

たとえペットを預ける先があつたとしても、預けた先の人が飼育している動物に詳しいとは限りません。飼い主の想いが手帳に書き込まれていれば、預かる方にも安心

で気にかけてほしい』という文章に、猫のイラストを添え、壁紙を作成し、SNSで無料配布するという形でした。

「意識したのは、気兼ねなく誰もが日常的に使えるシンプルなデザインです。まずは第三者に気づいてもらえる、ということが大事だと思ったのです。友人のように、家で待つ猫の存在を誰かに気付いてもらいたい、不安な気持ちを少しでも解決したい、そんな想いの人たちは他にもきっと大勢いるに違いないと思いました」

SNSで発信したこともあり反応は萩野さんが考えていたよりも大きく、同じように悩んでいた人の多さを改めて実感し、少しあり大きくなっています。

心が届きます。

進化するヘルプ手帳

猫と一言で言っても老猫、若い猫、オス、メスなど一括りにはいきません。ユーザーから毎日のように多くの声が届きます。そんな声に萩野さんは更に奮起しました。

「多頭飼いのため一冊では不便な人、毎日日記のようペットの様子を書き込みたい方や、そもそも元気なペットばかりではなく、頻繁に病院にかかるペットもいます」

冊子式の手帳では一冊でまとめきれずに、追記を重ねるたびに書き込みする場所が足りなくなつていきました。そこで思い切つて記入できる用紙を簡単に追加できるようにバインダー式を開発することを決めました。しかしそうなると、制作にかなりの費用がかかります。そこで「クラウドファンディング」の利用にチャレンジすることになりました。

「使用する紙一つにしても金具や装飾など、業者さんと一緒に決めていき作り上げていく作業は、イラストレーターとしても大変勉強になりました」

そして令和六年、バインダー式「ねこヘルプ手帳」が完成。来年にはバインダー式「いぬヘルプ手帳」もあります。そのためコンピュ

役に立てたと安堵した瞬間でした。

安心を形にしたい

令和四年、猫を守るために想いが新たな開発を生み出しました。それが「ねこヘルプ手帳」です。

ヘルプ手帳とは、飼い猫の様子が記録できる母子手帳とお薬手帳の特徴を一冊で兼ね備えた手帳です。前や性別は勿論、投薬情報からワクチン履歴、かかりつけ医や代理人連絡先まで大切な情報を書き込める手帳です。きっかけは、萩野さん自身の体験でした。

「折しも私が妊娠中で、その時にもらった母子手帳に、『これは…』

役に立てたと安堵した瞬間でした。

手帳の機能があると役に立つのではないかと、次々アイディアが湧いてきました」

子育て中でもあり、沢山の人を使つてもらいたい、というよりも知り合いや身近な人に利用してもらえたらしいなという、ゆつたりとした気持ちで取り組み始めました。しかし、その様子をSNSで発信すると、とたんに多くの情報やリクエストが一気に寄せられました。すぐには想像を超える多くの問い合わせがあり、こんなに必要としている方に多いと知り驚きました。すぐに試行錯誤を重ね、半年程で仕上げました。嬉しいばかりでしたが、取り掛かる前からこのように大き

とヒントを得ました。そこにお薬手帳の機能があると役に立つのではないかと、次々アイディアが湧いてきました」

子育て中でもあり、沢山の人を使つてもらいたい、というよりも知り合いや身近な人に利用してもらえたらしいなという、ゆつたりとした気持ちで取り組み始めました。しかし、その様子をSNSで発信すると、とたんに多くの情報やリクエストが一気に寄せられました。すぐには想像を超える多くの問い合わせがあり、こんなに必要としている方に多いと知り驚きました。すぐに試行錯誤を重ね、半年程で仕上げました。嬉しいばかりでしたが、取り掛かる前からこのように大き

とヒントを得ました。そこにお薬手帳の機能があると役に立つのではないかと、次々アイディアが湧いてきました」</